

VE スペシャリスト認定試験 記述式問題の解答で留意すべき点

この文書は、VE スペシャリスト認定試験における記述式問題の解答で押さえるべき要点を、用語記述問題・短文記述問題・論述問題の3種類に分けて整理したものです。各セクションでは、設問の意図、不十分な解答と適切な解答の違い、解答時の注意点を順に確認します。

1. 用語記述問題

このセクションでは、用語の一般的な意味だけでなく、VEにおける意味や位置づけまで書く必要があることを確認します。不十分な解答例と望ましい解答例を比べながら、求められる記述の水準を整理します。

用語記述問題では、VEで用いられる用語を説明することが求められます。ここでは、「ライフサイクル・コスト」を例に考えます。

たとえば、「製品やサービスの開発から使用、廃棄までにかかるコスト」と解答したとします。この説明は誤りではありませんが、ライフサイクル・コストの一般的な意味を述べているだけです。

しかし、VEにおいてライフサイクル・コストがどのような意味をもつのかまでは示していません。そのため、VEの用語説明としては不十分です。

では、VEでは「ライフサイクル・コスト」という用語をどのように捉えるのでしょうか。

この用語はVEの定義に含まれています。文献『新・VEの基本』では、VEを「最低のライフサイクル・コストで必要な機能を確実に達成するために、製品やサービスの機能的研究に注ぐ組織的努力」と定義しています。つまり、必要な機能を達成しながら、ライフサイクル・コストを最低（最小）にすることが目的です。

従って、VEにおけるライフサイクル・コストとは、必要な機能を満たしつつ“最低（最小）にすべきコスト”です。この意味まで含めて説明することが望まれます。

用語記述問題では、用語について一般的な説明だけでなく、VEにおいてその用語がどのような意味をもっているかについても記述する必要があります。

【不十分な解答例】

ライフサイクル・コストとは、
製品やサービスの開発から使用、廃棄までにかかるコストである。

【望ましい解答例】

ライフサイクル・コストとは、
製品やサービスの開発から、使用者の手にわたり、使用され、廃棄されるまでにかかるコストであり、VEにおいて、必要な機能を確実に達成するとともに最低（最小）にすることをめざしているコストである。

2. 短文記述問題

このセクションでは、設問が求めている内容が「言葉の意味」なのか「必要性の説明」なのかを区別して答える重要性を確認します。不適切な解答例と適切な解答例を比べながら、設問の意図に沿った書き方を整理します。

VEの基本原則の必要性を簡潔に説明することが求められている問題の中で、「使用者優先の原則」を例に考えます。

たとえば、「製品やサービスを開発・改善するときは、提供者ではなく顧客・使用者の立場で考えること」と解答したとします。この解答は、「使用者優先とは何か」という意味の説明としては適切です。

一方で、なぜ使用者優先で考え行動する必要があるのかは示していません。設問が求めているのは基本原則の必要性であるため、意味の説明だけでは不十分です。

使用者優先の必要性を説明するときは、次の点を押さえます。

- 何のために、使用者優先で考え行動するのか
- なぜ、使用者優先で考え行動するのか

使用者優先が必要なのは、顧客・使用者に満足される製品やサービスを提供するためです。そのためには、使用者がいつ、どこで、何のために、どのように製品やサービスを使っているかを把握する必要があります。

使用者の満足が得られなければ、製品やサービスを継続して提供することは難しくなります。使用者本位で考え行動することは、提供者にとっても重要です。

短文記述問題では、問題文をよく読み、何が問われているかを正確に把握したうえで解答することが重要です。

【不適切な解答例】

使用者優先の原則の必要性

製品やサービスを開発設計したり改善したりする場合に、製品やサービスの提供者の立場ではなく、顧客・使用者の立場で考えること。

【適切な解答例】

使用者優先の原則の必要性

製品やサービスを開発設計したり改善したりする場合に、顧客・使用者の要求を的確に把握し、要求事項を満たし、顧客・使用者の満足が得られる製品やサービスを提供するために必要である。

3. 論述問題

このセクションでは、事例型の設問に対して、立場・状況・対応策を整理して答える方法を確認します。題意の把握から対応策の抽出、簡潔な説明のしかたまでを、事例と表を用いて示します。

論述問題の例として、次の設問を考えます。

X社では、自社製品と競合する製品を、他社が市場に導入しようとしているという情報を得たので、製品の価値向上をはかることになった。

X社では、従来からVEを活用しているので、価値向上を実現するために、VEを活用する方針が決定され、価値向上の目標が設定され、代替案を提示する目標期日も設定された。社内の各部署からチームメンバーが選定されたが、その中でVELの資格を有する設計部のA氏が設計部長からチームリーダーに任命された。

A氏をリーダーとするVEチームは、さっそくVE実施手順に従って活動を開始した。しかし、チーム活動では、機能定義段階で機能の整理に予定以上の時間がかかり、目標期日までには価値向上案を提示できないことが懸念される事態となった。

【設問】あなたがA氏だとしたら、このような事態にどのように対処しますか。A氏の立場にたって、とるべき対応策を示し、その内容を簡潔に説明しなさい。

論述問題では、まず題意を的確に把握することが重要です。何が問われているかを外すと、長く書いても的外れな解答になります。

この設問から読み取るべき点は、次の3点です。

- A氏の立場で考えて記述すること
- この事態にどう対処するかを示すこと
- 対応策の内容を簡潔に説明すること

では、A氏の立場を整理します。

A氏は、設計部長からチームリーダーに任命された立場であり、目標達成に向けてチーム活動を主導する立場でもあります。

この立場から考えると、進捗を報告し、必要に応じて提案や相談を行うこと、またチームに働きかけて目標達成を促すことが求められます。

たとえば、次のような対応策が考えられます。

1. チーム活動の状況を部長に報告する。
2. 目標期日を守る必要性をチームメンバーに徹底する。
3. 目標期日を維持するための活動計画修正案を作成し、提案する。
4. 修正案の実施に向けて、関係者の了解を得るよう依頼する。
5. 修正目標が認められた場合は、その達成に向けてチームに働きかける。

それぞれの対応策は、次のように簡潔に説明できます。

〈対応策〉	〈説明〉
1. 部長への報告	・チーム活動の現状を報告し、助言を受ける。
2. 目標遵守の徹底	・目標達成に向けた行動をチームに徹底する。
3. 計画修正案の提示	・日程や役割を見直した修正案を作成し、提案する。
4. 関係者の合意取得	・修正案について関係者の合意を得るよう働きかける。
5. チームへの働きかけ	・修正後の目標達成に向けてチームを促す。

4. 記述式問題に共通するポイント

1. 題意を的確に把握する

何が問われているかを正確に理解することが重要です。表面的な読み取りで誤解しないよう、問題文を丁寧に確認します。

2. 解答内容を明確に記述する

正確な言葉を使い、わかりやすく記述することが重要です。必要に応じて箇条書きや表を用いると整理しやすくなります。

3. 用語の定義を正確に理解する

使用する用語は、正確に理解したうえで適切に用いることが重要です。

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

2026年5月29日